

原子力空母の永久母港化反対

横須賀大集会に八千人



「原子力空母は来るな！」とデモ行進

九月十三日、横須賀市のヴェルニー公園で「横須賀を永久出撃基地にする原子力空母ロナルド・レーガンは来るな！」の集会が開か

れ、八千人が参加しました。文化行事はラップ調の歌で、唯一「ウィーシャルオーバーカム」だけはわかったので一緒に大きな声で

歌いました。

一九七三年に三年の約束で配備された空母が四十三年も居座り、二〇〇八年には原子力空母ジョージ・ワシントンに交替しました。今年十月一日からは原子炉二基を搭載した新鋭の空母

ロナルド・レーガンが入港しようとしています。

安倍内閣が戦争法案を強行しようとしているさなか、辺野古への新基地建設や横須賀への原子力空母配備は「戦争する国」の軍事的基盤づくりであり、両者

は一体です。

集会では「原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会」共同代表の呉東雅彦弁護士の間接挨拶が心に残りました。「原子炉二基搭載の空母が配備されているのに原発のよう

な配備基準も日本にはなく、空母の原子炉事故が起きたら首都圏三千万人の命と暮らしを直撃する」

また、ロナルド・レーガンは東日本大震災の時の「トモダチ作戦」に出動、乗船していたアメリカ海軍兵士が被曝し、疾病罹患したという話に驚きました。事態の深刻さを初めて認識しました。

婦民は神奈川県協や神奈川県在住の会員・読者をはじめ首都圏から十数人が参

加。集会後の一・五キロのデモも元気に「空母は要らない！戦争法案今すぐ廃案！」とコールしました。

横須賀のメイン商店街をいくつもの集団に分かれてのデモ行進で買い物客や市民に大きくアピールできました。

私がデモを終えてヴェルニー公園近くの駅に戻ると、まだ出発待ちをしていました。改めて八千人はすごいなあと思いました。（都庁支部 会員）